

骨軟部腫瘍医療の集約化を考えるシンポジウム開催のお知らせ

がん診療連携拠点病院の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第2期がん対策推進基本計画で希少がん対策の検討が盛り込まれたことをうけ、先日厚生労働省から「希少がん医療と支援のあり方に関する検討会」報告書が発行されました。その中では、今後がん種毎のワーキンググループが設けられることが提言されるなど、現在まさに希少がん対策が始動する時期にあります。

骨軟部腫瘍は希少がんの一つですが、希少がんの診療体制においては、集約化の是非が頻繁に話題に挙がります。しかし、これは単純な問題ではなく、情報の得やすさや、患者の通院利便性確保、医療者の教育などを考慮しつつ多角的に検討していかなければならない問題です。

そこで、厚生労働科学（がん政策）研究「希少がんの定義と集約化のためのデータ収集と試行に関する研究」では、骨軟部腫瘍の医療に携わる方々で、この課題について考える場をもつことが重要と考え下記の通りシンポジウムを企画しました。

本シンポジウムでは、「集約化ありき」ではなく、集約化のメリット・デメリットの検討や同時にネットワーク化とのバランスをどのように考えるか、といった自由な議論を通じて最適な医療を模索していきたいと思っております。シンポジウム中、参加者の皆様の意見を頂くために、スマートフォンやタブレット端末を使ったアンケート・即時集計など利用して、活発な議論や意見交換を行う予定です。尚、本シンポジウムで検討された意見は、報告書としてまとめられ、今後の希少がん対策における重要な資料となることと期待されます。

骨軟部腫瘍の医療に携わる方々の参加をお待ちしております

日時： 平成27年12月5日（土） 13時—17時

場所： 国立がん研究センター国際研究交流会館
（東京都中央区築地5-1-1）

対象： 骨軟部腫瘍の診療に関わる医療関係者

主催： 厚生労働科学研究「希少がんの定義と集約化に向けたデータ収集と試行のための研究」
（研究代表：東 尚弘 国立がん研究センターがん対策情報センターがん政策科学研究部）

共催： 公益財団法人 日本対がん協会

申込： <https://plaza.umin.ac.jp/rc> にて11月30日までに、ご登録ください。

問合先： 国立がん研究センターがん対策情報センターがん政策科学研究部（担当：今埜）
03-3547-5201（内1606） hsr@ncc.go.jp